

# 修士学位申請論文について

## 1. 研究題目の登録

2年次に、所定の届出用紙に指導教員の承認を受け、下記のとおり登録してください。

- 登録期間……2022年9月26日（月）～10月1日（土）
- 登録受付場所……本館3階 教務課窓口  
窓口受付時間……9：00～17：00（月曜日～土曜日）

## 2. 論文提出

- ① 論文提出期間……2023年1月6日（金）～1月13日（金）
- ② 論文提出場所……本館3階 教務課窓口  
窓口受付時間……9：00～17：00（月曜日～土曜日）
- ③ 論文（正本1部、副本2部）と論文要旨（3部）に、所定の学位申請書を添えて提出してください。

論文提出は後記「6. 学位論文提出期限に関する特例措置」に該当する事由を除き期日の延期は認めないので、各自十分に注意してください。

注(1) 所定の単位は修得したが修士論文の審査において不合格となった者、および所定の単位は修得したが修士論文を提出しなかった者は、翌学年度の前期末（9月25日付）に修了する機会が与えられます。この場合、修士論文の提出締切を2022年7月9日（土）17：00とします。

(2) 修士論文の審査に合格しても所定の単位を修得していない者は、少なくとも半年以上修了延期となります。

## 3. 最終試験（口頭試問）

最終試験は修士学位申請論文を中心として、これに関連のある学問領域について行います。

最終試験実施期間……2023年2月10日（金）～2月25日（土） 日程は別途指導教員より通知します。

## 4. 論文合格基準

修士の学位論文は、広い視野に立って精深な学識を修め、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を有することを証示するに足るものをもって合格とします。

※詳しくは各専攻の「5. 修士論文 審査基準」を参照のこと。

## 5. 学位論文提出に関する注意

論文の提出にあたっては、正本は黒またはブルーブラックのペンまたはボールペンで筆記、あるいはパソコン等を使用し作成したものを提出してください。副本は原本からコピーしたものを提出すること。

## 1) 論文および論文要旨の部数と様式

専攻	修士論文				論文要旨			
	部数	枚数		書式	部数	枚数		書式
		400字詰原稿用紙	A4判用紙			400字詰原稿用紙	A4判用紙	
英語学専攻	正本1 副本2	—	制限なし	横書き	3	—	3ページ程度	横書き
国語国文学専攻	正本1 副本2	制限なし	制限なし	縦書きもしくは横書き	3	5枚程度	3ページ程度	縦書きもしくは横書き
心理学専攻	正本1 副本2	—	制限なし	横書き	3	—	3ページ程度	横書き

- ※1. 修士論文においては、必ず、目次および参考文献を記載すること。
- ※2. パソコン等により作成する場合は、A4判の用紙を使用すること。
- ※3. 英語学専攻の修士論文、論文要旨について  
 修士論文は英語で作成することを原則とするが、特別の事情のある場合には、指導教員の許可を得たうえで、日本語で書くことを認めることがある。  
 修士論文を英語で作成する場合、論文要旨は日本語で3,600字程度とする。  
 修士論文を日本語で作成する場合、論文要旨は英語で1,500語程度とする。

## 2) 表紙の様式

表紙の様式、記載内容、表装方法等は各専攻の指示にしたがってください。

## 6. 学位論文提出期限に関する特例措置

事由	その場合の特例措置
イ. 論文提出締切日に、警報ならびにストにより半日、全日にかかわらず本学が休校となった場合	その事由による休校が解除された日の翌日まで提出期限を延長する。 (翌日が休日の場合は翌々日)
ロ. 論文提出締切日に「忌引・危篤」「天災等による被害」「病気・けが」に該当すると認められる事由が生じた場合	締切日を3日間延長する。 ただし、「病気・けが」のうち、学校感染症にかかった場合は、医師の登校許可が下りた日から3日以内に提出すること。 なお、延長締切日が休日の場合は、その翌日を締切日とする。

- ※1. イの警報ならびにストによる休校については、35～36頁を参照のこと。
- ※2. ロの該当者は、論文提出の際に医師の診断書等証明となるものを添えること。
- ※3. ロの事由のうち、「天災等による被害」「病気・けが」は論文提出者本人を、「忌引・危篤」は、本人との関係が2親等以内の親族を対象とする。